

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター パンビ			
○保護者評価実施期間	R 7 年 3 月 10 日 ～ R 7 年 3 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	R 7 年 3 月 10 日 ～ R 7 年 3 月 31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3 月 3 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療・看護・保育・リハビリ等多職種連携で支援している	・タイムリーに伝達・連携を行っている	・ケース会議や本人の状態に合わせた情報共有を行い、対応できるようにしていく
2	清潔で心地よい環境・感染対策の実施	・感染対策に対して早期対応を行っている。手洗いについて意識づけを行っている	・こまめな手洗い、換気を徹底する。 ・子ども達の体調のわずかな変化への気づきを職員で声かけあって確認する
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	・地域での流行性の感染症等があると交流を控えざるを得ない。体調管理が常に必要な子ども達で、体調を崩すと長期化深刻化するため、慎重になる。	・子ども達の健康管理を行いながら、地域の子ども達との接点を作るプログラムを実施する。 ・R 5 年度より安全対策をとりながら、近隣の保育園との交流保育を再開している。
2	家族・きょうだい児支援	・センター内感染委員会による判断に基づいて行事、外部の受け入れ制限が行われている	・安心してご家族を受け入れる体制を作り、イベントに参加しやすいように工夫をし支援を行っていく。 ・今年度より、保育行事参加人数の制限はしていない。
3			